

大腸癌肝転移を対象とした前向きレジストリ研究

1. 研究の対象

2021年10月～2025年9月に当院と下記の研究所組織で初発大腸癌肝転移と診断された方

2. 研究目的・方法

大腸癌肝転移の中で、どの程度の症例に対して各治療が導入されたかを把握し、それらの予後因子の解析をおこなうことで、今後臨床試験を行う際の治療対象集団の同定、治療方針の決定（至適レジメンや期間の決定）などにつながることを期待できます。

大腸癌肝転移症例を前向きに集積し、肝転移に対する治療の有無及びその種類による無再発生存期間および全生存期間の解析を行い、予後因子の同定を行います。

承認日から2025年9月30日までに、参加施設において初発大腸癌肝転移と診断された症例を多施設で前向きに集積し、予後解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

大腸癌診断時情報、肝転移診断時情報、原発巣切除情報、転移巣切除情報、化学療法実施情報等。

4. 外部への試料・情報の提供

連結可能匿名化を行います。対応表は当院で厳重に保管します。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供します。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行いません。

情報管理責任者（研究代表者）：大阪労災病院 外科 鄭 充善

5. 研究組織

JCHO 大阪病院、大阪警察病院、大阪労災病院、大手前病院、関西ろうさい病院、近畿中央病院、国立病院機構大阪医療センター、済生会千里病院、市立池田病院、市立伊丹病院、市立貝塚病院、堺市立総合医療センター、市立吹田市民病院、市立豊中病院、西宮市立中央病院、日本生命病院、市立東大阪医療センター、兵庫県立西宮病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪国際がんセンター、箕面市立病院、守口敬仁会病院、八尾市立病院、鳥取大学医学部、大阪大学大学院消化器外科学

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

市立吹田市民病院 外科 副院長 岡村 修

大阪府吹田市岸部新町5-7

TEL: 06-6387-3311（代表）